

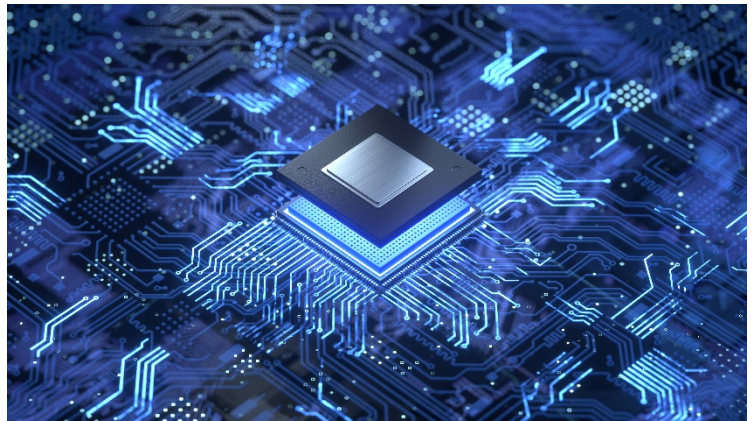
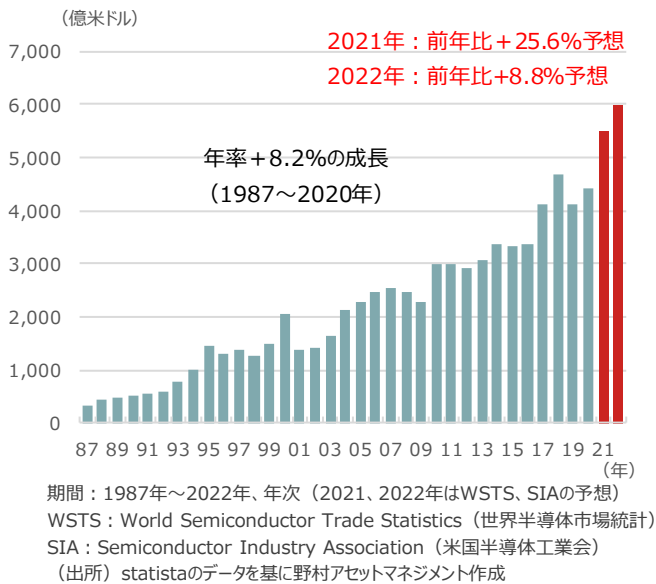
人々の生活が良くなる半導体 ～より便利に人々とつながれる時代に～

半導体は人々の生活を向上させてきました。今までもそしてこれからも。

2020年、DX（デジタルトランスフォーメーション）が加速

半導体は「産業のコメ」と言われ人々の生活に欠かせないものです。2022年の半導体の売上高は前年比8.8%の伸びとなる見通しです。2020年、世界に新型コロナウイルス・パンデミックが起きましたが、人々とつながりたいという欲求からデジタル化が急加速しました。ビジネスではオンライン会議が定着、余暇ではオンライン飲み会なども行なわれ、スマートフォンなどの利用が大幅に増加しました（右下図）。

世界の半導体売上高の推移

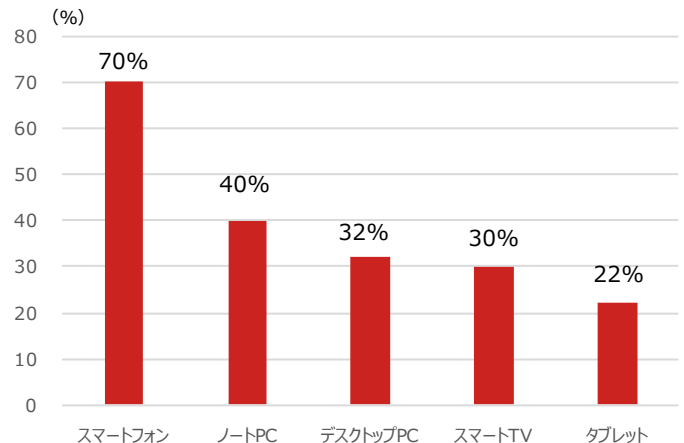


上記の写真はイメージです。

コロナ禍において使用時間が増加した電子端末



上記の写真はイメージです。



コロナ禍において使用時間が増加した電子端末の調査結果
調査時点：2020年3月第3週、世界各国にて実施
（出所）statistaのデータを基に野村アセットマネジメント作成

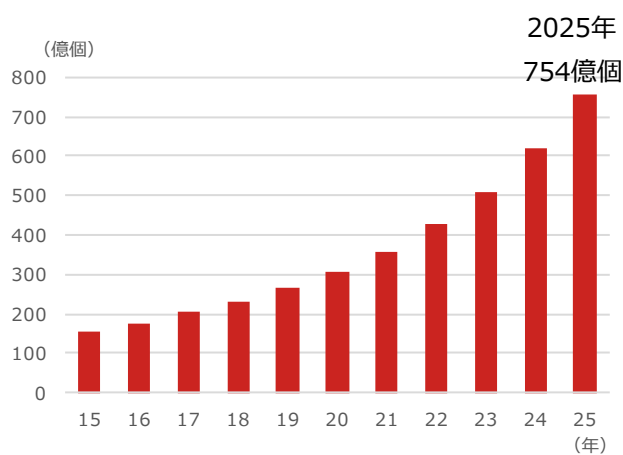
上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

人々がインターネットでモノとつながれる。 IoT（モノのインターネット）の時代。

家の中にインターネットにつながっているモノはいくつありますか？

2025年には754億個もの機器がインターネットに接続されると予測されています。世界の人口は約78億人ですから1人当たり約10個です。皆さんの家の中の家電製品などあらゆるものがインターネットに接続され便利になるでしょう。また自動車の電装化によってスマートフォンより多くの電子部品を搭載する必要があるといわれ、2028年の世界の自動車向け半導体市場の規模は2020年の約2倍になる予想です。

IoT機器の世界累計設置個数

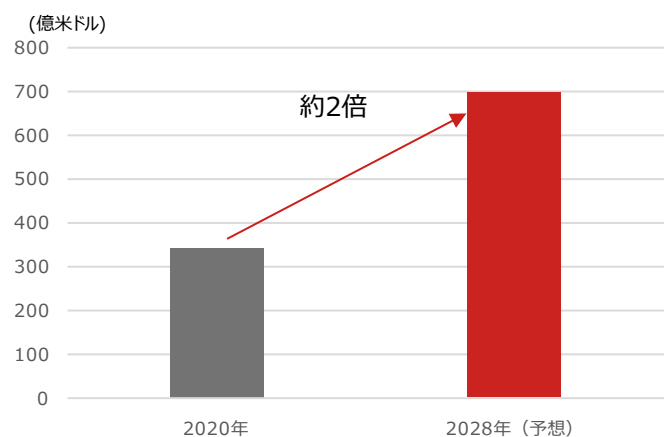


期間：2015年～2025年、年次
2017年以降はIHS Markitによる予測
(出所) statistaのデータを基に野村アセットマネジメント作成



上記の写真はイメージです。

世界の自動車向け半導体の市場規模



期間：2020年と2028年（Inkwood Research予想）の比較
(出所) statistaのデータを基に野村アセットマネジメント作成



上記の写真はイメージです。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

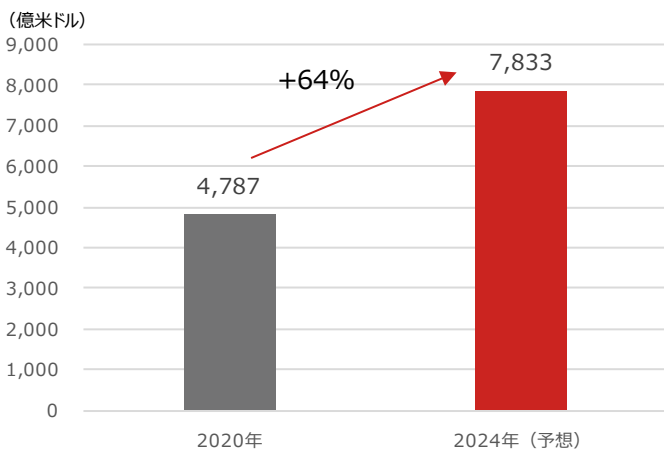
* 後述の<当資料について>を必ずご覧ください。

そして人類は仮想空間へ メタバース（超・宇宙）と半導体

DXからVXへ さらに必要とされる半導体

2021年10月28日、米フェイスブックは社名を米メタ・プラットフォームズに変更し、メタバースの世界に約1兆円投資すると発表しました。コロナでDX（デジタル・トランスフォーメーション）が一気に進み、次はVX（バーチャル・トランスフォーメーション）と言われ、仮想空間上で人々がつながり経済圏が出来上がっていきます。演算処理能力の高い半導体や専用のゴーグルなどの機器、3D向けソフトウェアなどの拡大で今後ますます半導体が必要とされるでしょう。これからも米エヌビディア、オランダASMLなど海外の半導体企業だけでなく、画像センサーのソニー、半導体のパッケージング技術のある新光電気工業など日本の半導体関連企業も注目されるでしょう。

世界のメタバースの市場規模



上記の写真はイメージです。

期間：2020年と2024年（ブルームバーグ予想）の比較
 (出所) ブルームバーグを基に野村アセットマネジメント作成

フィラデルフィア半導体株指数（SOX指数）の推移



期間：2017年12月29日～2021年12月31日、日次
 (出所) ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

掲載されている個別の銘柄については、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

野村アセットマネジメントからのお知らせ

■ ご注意

下記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をご覧ください。

■ 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■ 投資信託に係る費用について

以下の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

2022年1月現在

ご購入時手数料 《上限3.85%（税込み）》	投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。 投資信託によっては、換金時（および償還時）に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。
運用管理費用（信託報酬） 《上限2.222%（税込み）》	投資家はその投資信託を保有する期間に応じてかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 * 一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 * ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
信託財産留保額 《上限0.5%》	投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。
その他の費用	上記の他に、「組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

<当資料について>

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

商号：野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第373号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会／
 一般社団法人日本投資顧問業協会／
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会